

プラン名称: 竜蟠虎踞 ～津軽半島 龍探しの旅～

チーム名	Team Dragon	対象地域	青森ステージ
大学名	青森中央学院大学	テーマ	「観光まちづくりプラン」 1～3から軸となるテーマを選択(複数可・必須) □1) 青森の芸術・文化 □2) 青森の食 ■3) 青森での体験
リーダー名	山崎 唯		
指導教員名	高山 貢		
メンバー名	山崎 唯、宮田 慶輝		

【本選出場】 青森県観光連盟賞 受賞

- 本プランが実現した場合の効果
- 北海道新幹線開業効果、津軽半島全域での獲得
 - 地域観光資源見直しと地域別観光資源組合せの動き加速
 - 広域観光情報発信態勢の構築
 - 地域観光イベントの活発化
 - 外国人観光客の受入れ態勢の整備促進

□問題意識

- ①地域の人口減少と地場産業の不振
- ②北海道新幹線の開業を生かした地域の魅力づくり
- ③忘れられていた津軽半島の観光復興

地域の魅力づくりと広域観光の推進

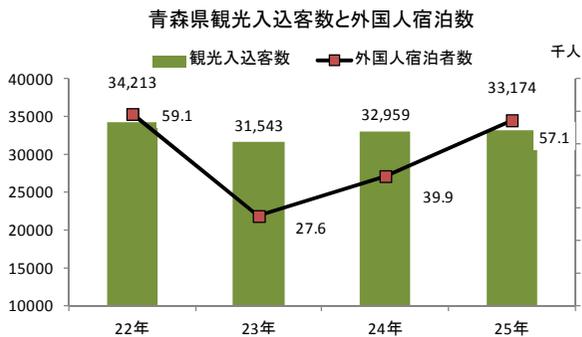
□問題の解決策

国内観光の現状

- 旅行形態の変化
- 高速交通網の整備による利便性向上
- 東南アジアを中心とした海外観光需要の拡大

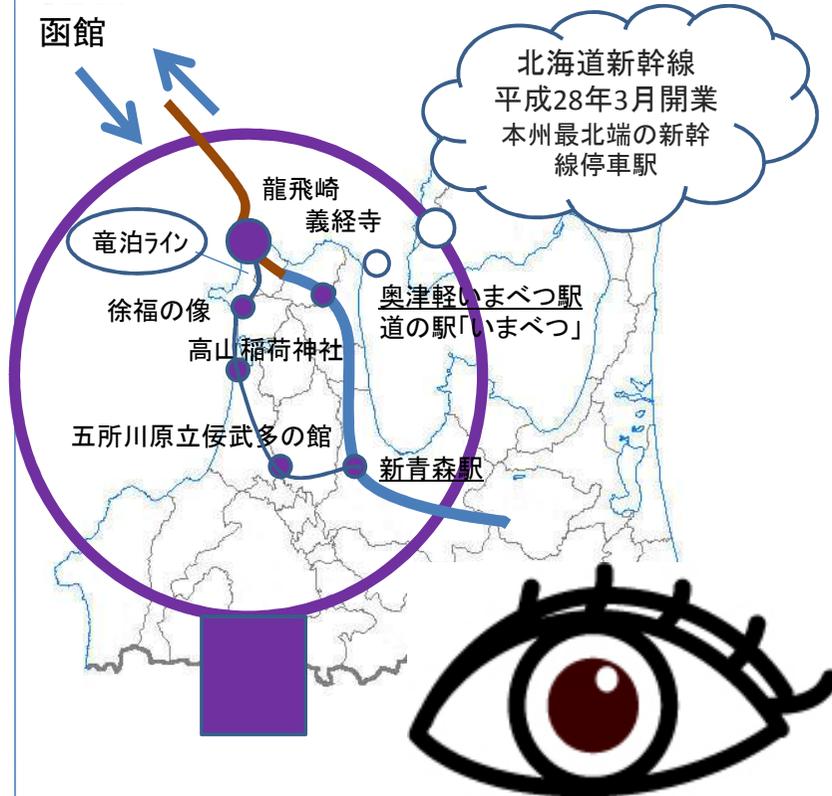
津軽半島広域観光の可能性

- 個人、グループ旅行の増加
- 外国人宿泊者数の回復
- 北海道新幹線開業迫る
- 函館市からの観光客誘致



□提案

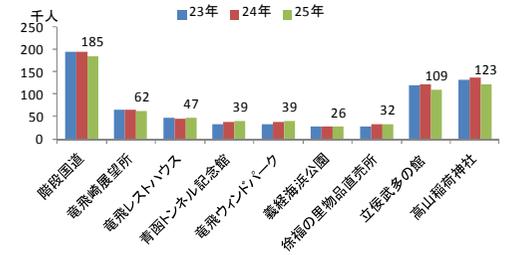
- 津軽半島、龍飛崎を中心に龍というコンテンツにこだわり、地域固有の「物語性」「テーマ性」を注目し、それを観光資源として活用した広域観光を目指す。
- 龍(龍飛崎)、義経寺(義経伝説)、徐福の像(日本最北)、青函トンネル(竜宮城)、五所川原立佞武多、観光ルート各所に龍が隠れている。その龍と物語を訪ねるツアーである。
- アジア諸国の観光客をターゲットにアピールできる観光商品として売ります。



□新規性

- 津軽半島をフィールドに龍というコンテンツを探し、新しい旅の形を提言している。
- 龍、義経寺(義経伝説)、徐福伝説、青函トンネル(竜宮城)等はアジアからの観光客が興味を持つ観光資源である。
- 外ヶ浜町、今別町、中泊町、つがる市、五所川原市を巡る広域観光商品である。
- 新幹線停車駅「奥津軽いまべつ」を起点に函館からのアジア諸国の観光客誘致できる。

津軽半島竜飛崎周辺観光地の来場者数



資料: 青森県観光統計概要

□実現計画(ルート)

団体ツアーバス/バス移動、日帰りドラゴンツアー

奥津軽駅→(約20分)→義経寺→(約25分)→竜飛サイドパーク→(約20分)→青函トンネル記念館→(約15分)→龍飛崎→(約10分)→津軽海峡冬景色歌碑→(約15分)→眺瞰台→(約50分)→徐福の像→(約40分)→高山稲荷神社→(約35分)→立佞武多の館→(約40分)→新青森駅

ドラゴンバスにて津軽の眺望を存分に堪能し、刻々と表情を変える龍飛崎、龍が住むと言われる自然のエネルギーにきっとあなたは感動する
外国人に人気の絶景隠れスポットへLet's Go!!!